



最近、「しあわせの時計(詞/渡辺 なおみ、曲/DON9)」という歌を子どもたちと手話ソングとして唄っています。この歌は東日本大震災1年後に作られ、被災地の小学生も制作に参加したようです。時計のチクタクという音と命の鼓動を重ね、命を受け継ぐ実感や責任を優しい歌詞やメロディーで表現されており、子どもたちもすぐに覚えて歌っています。先日、1・2ふたばレンジャー(週に一度全園児でホールに集まり、遊戯や手遊びなど異年齢児で遊びを共有する時間)で、しあわせの時計を手話ソングとして唄いました。この歌を通して私から子どもたちに話したことがあります。それは「みんなには大切な命がある」「命は一つしかない」「車から子どもは見えないうんだよ。だから保育園の駐車場では必ずお家の人と手を繋いで歩くんだよ」と伝えました。そして「これをお家の人にも伝えてね」ということも一緒に。

今月の予定

冬遊び交流会〈年長児〉 12/5(木) 牛久第二小学校を訪問し、1年生や他園の年長児と交流してきます。少しずつ就学への期待も高まってきますね。

てくてくミュージアム 12/5(木)~7(土) 13:00まで 今年はおホールに各クラスまたは学年で作った共同製作を飾ります。子どもたちの作品をてくてくと歩きながらご覧くださいね。開催までの数日間はホールを締め切って準備します。お楽しみに!

交通安全教室 12/12(木) 今月は「安全確認と一時停止」をテーマにして教えていただきます。お家でも是非確認してみてくださいね。

リトミック 12/17(火) 中島先生をお迎えしてのリトミックです。日頃の積み重ねでリズム感や表現が育ってきています。

おべんとうデー 12/18(水) 毎月お弁当のご協力いただきありがとうございます。子どもたちはいつも大喜びでこの日を楽しみにしていますよ。保冷剤を忘れずに!

カレーライスの日 12/20(金) 学年ごとにそれぞれの役割を楽しみながらも、「みんなのために」という責任感や喜びも育ってきています。

クリスマス会 12/24(火) 子どもたちにとって素敵な日となるように、少しずつ準備をしています。どうかこの日は世界中の子どもたちが幸せに過ごせますように。

誕生会 12/26(木) 10:00~ 12月生まれのお友だちのお祝いをしますよ~! 今回の職員からの出し物のプレゼントは劇です!楽しんでくれますように!

お知らせ・お願い

★薄手の衣服をご用意ください 毎年のお願いで恐縮です。園生活では、裏起毛やヒートテックのような吸湿発熱の素材の衣服はご遠慮いただいています。理由は活動して汗をかくことで汗冷えが起こり、結果的に身体を冷やしてしまうからです。また、厚手の衣服は動きづらさもありますので、薄手の長袖を複数用意していただきますとよろしいかと思います。園内のエアコンを交換したこともあり、室内はとっても暖か!半袖でも大丈夫なほどです。寒い日の戸外遊びは、上着を着たり、薄手の長袖を重ね着するなどして対応いたします。ご協力をお願いいたします。

★忘れ物をした際の対応について 降園後に持ち帰り忘れがあった場合の対応を変更させていただきます。これまで降園後に持ち帰り忘れがあった場合は、職員から保護者の方に電話連絡にてお知らせをしておりました。夕方のお忙しい時間なので繋がらないことも多々あり、職員が退勤できないこともあります。つきまして、今後は持ち帰り忘れがあった場合、園から電話連絡をしないとさせていただきます。降園後に忘れ物に気づいた場合はご家庭からご連絡いただければ、延長保育担当職員が対応いたします。また、園がお渡しそびれてしまった場合はこれまで通りこちらからご連絡差し上げます。

☆年末年始の日程について 2024年12月29日(日) ~ 2025年1月3日(金) の期間は保育園もお休みとなります。年末は12/28(土)まで、新年は1/4(土)からとなります。ご承知おきください。

☆尿検査の予定 ・尿検査 提出は12月4日(水)9時までによろしく申し上げます。

想像力 イスラエル家族が日本旅行を楽しんでいる様子と、現地のプール付き豪邸生活を友人から見せられた。高い壁の中に押し込められ、爆撃を受けているパレスチナの惨状に、最近見た「関心領域」という映画を思い出した。虐殺場面などなかったが、アウシュビッツ収容所長一家は、壁を隔てた隣に住んでいて、悲鳴も銃声も聞こえなかった。それなのに、何も気に止めることなく、囚人から奪った高価な物を身にまとい、囚人を召使に使って、豊かな生活を送っていた。かつて、悲惨な目にあったイスラエル人が、今度は、ガザのパレスチナの人々の悲鳴に無関心でいる。同じ事はロシアとウクライナの間にもある。侵略を防衛のための侵攻といわれ、偽情報を信じ込んでいるロシアの人々は、ウクライナの痛み、苦しみを想像することなく、何も感じないのだろうか? アメリカでも、排他と虚偽をふりまき、差別発言で恐怖と分断をはかり、そして、子ども達の未来に対する想像もせず、気候変動を否定している人がいる。▼いじめが増えて、重大事態が過去最多になっている。いじめは自死に至る程の苦しさと、心に消えることのない深い傷を受ける。保護者に「どういう子に育てたいですか?」と聞く「健康で心優しい子」とい

う。優しいとは、まさに人を愛ると書く。人の立場になって、その人のことを思うことである。いじめは、いじめられる相手の気持ち、辛さを想像できないのである。子ども達の想像力が、次第に「乾いて」きている。▼私達人間は、他人の痛み・苦しみを想像できないのだろうか。元京都大学長の山極寿一さんは、「人間は元来、目の動き、顔の表情などで相手の心を読み、相手を察する能力をもっていった。そのコミュニケーションの方が原初であって、言葉だけだけでなく、対面することが大切である。そして、心と体を相手と一体化し、相手の気持ちになる。それが共感するということである。人と人が共に感じ、協同する『共感力』が人類を進化させ、発展させた。」と述べている。しかし、スマホ脳に陥り、SNSで炎上し、洗脳され、自分の頭でじっくり考え、想像することができなくなっている。心と体でじゃれつき合い、ぶつかり合い、心と心が通じ合う体験『遊び』をさせなければ、人に対する想像力は育たない。絵本を読み聞かせ、お話を聞かせ、想像の世界を体験したり、自然の事象や変化に気づき、考え、想像することができるとも、未来の地球環境に対して、他人に対しても、じっくり考え、想像できるような人になって欲しい。